

新潟放送

活動名	放送局の仕事とメディアリテラシーについて
実施期間	令和 5 年 9 月～令和 6 年 1 月
実施回数	学校 5 回

【実施学校】 新潟市立浜浦小学校、新潟市立小合小学校、
長岡市立中島小学校、新潟市立味方小学校

【事業実施の成果・課題】

今年度初めての取り組みでしたが、弊社ではこれまでも出前授業を実施しており、学校から応募を頂き実施できました。民放連様の DVD は、メディアリテラシーとともに、放送の仕組みについても学べて、軽妙なタッチで児童の皆さんにとっても喜ばれます。ただ、小学校の 45 分授業では、少し長いと感じており、ショートバージョンを作成して頂けると大変活用しやすくなります。もしくは、小学校へ DVD を貸与することができれば、事前に閲覧しておいてもらえて、その後に出前授業が行えるため、有効だと思います。メディアリテラシー授業の回数を重ねるうちに、下村健一さんの著書などを参考に進めるようになりました。今後下村さんのオンライン講座などを実施して頂き、勉強させていただけたらと思います。

【事業担当者の感想】

メディアリテラシーの重要性は感じていても、どのように伝えていいかわからなかったため、VTR を活用しながら数回進めていくうちに、少しやり方が見えてきたように思います。フェイクニュースや迷惑動画など SNS 上のトラブルについては、子どもたちもよく知っていますが、「メディアリテラシー」という言葉はまだ聞いたことがないという子どもが過半数です。一方でスマホ所有の低年齢化が進んでいて、気軽にインスタライブなどをやったり、自称 YouTuber という小学生もいたりするため、学校側も様々な取り組みをしているようで、その一助になりたいと思います。

【教諭・子どもたち・視聴者などの感想】

<小学校教諭>

- ・ SNS を利用し始めた子どもたちにとって、自分の行動を見直すきっかけになりました。また、テレビ局の皆さんがどのように情報を扱っているのか的確に教えて頂きました。
- ・ 子どもたちは、今まで見たことのないくらい集中してお話を聞いていたので、大変びっくりしています。また、質問と言ってもいつもは 4 人くらいなのですが、あんなにたくさんの子が手を挙げたのも大変珍しいことです。

<児童>

- ・ ニュースには「速報性」「正確性」「公平性」「公共性」の 4 つが大切なことがよくわかりました。
- ・ フェイクニュースを広めてしまうと日本中が大変なことになることがわかりました。騙されないように気を付けて、学んだことを意識してテレビや SNS を見ていきたいです